
2022年 3月期 決算ハイライト

ティアック株式会社

<https://www.teac.co.jp/jp/>

証券コード6803

2022年5月13日

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2022年3月期 決算 ハイライト

単位：百万円	前期	当期	増減	増減 (%)
売上収益	14,589	16,004	+ 1,416	+ 9.7%
営業利益	508	654	+ 146	+ 28.8%
税引前利益	342	481	+ 139	+ 40.7%
親会社の所有者に帰属する当期利益	301	392	+91	+ 30.1%
資本合計	1,844	2,468	+ 624	+ 33.8%
純資産比率	19.1%	24.5%		+ 5.4pt

■ 売上収益

- 当期は、新型コロナ禍の影響が残り、部品調達難、物流混乱の中、音響機器事業、情報機器事業ともに前期から回復し、全社では+1,416百万円の増収。なお、当期の売上収益は、新型コロナ禍前の2020年3月期比較でも+1,260百万円の増収。

■ 営業利益

- 部品調達難、物流混乱によるコスト増が発生したものの、増収に伴い音響機器事業のセグメント利益は増益、情報機器事業のセグメント利益も黒字化し、全社では+146百万円の増益。前期は127百万円の一過性の個別開示項目の利益（年金制度変更等）の発生があったが、当期は本業のみで前期比増益となる営業利益を計上。

■ 税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益

- 営業利益の増益に伴い、税引前利益は+139百万円の増益、親会社の所有者に帰属する当期利益も+91百万円の増益。

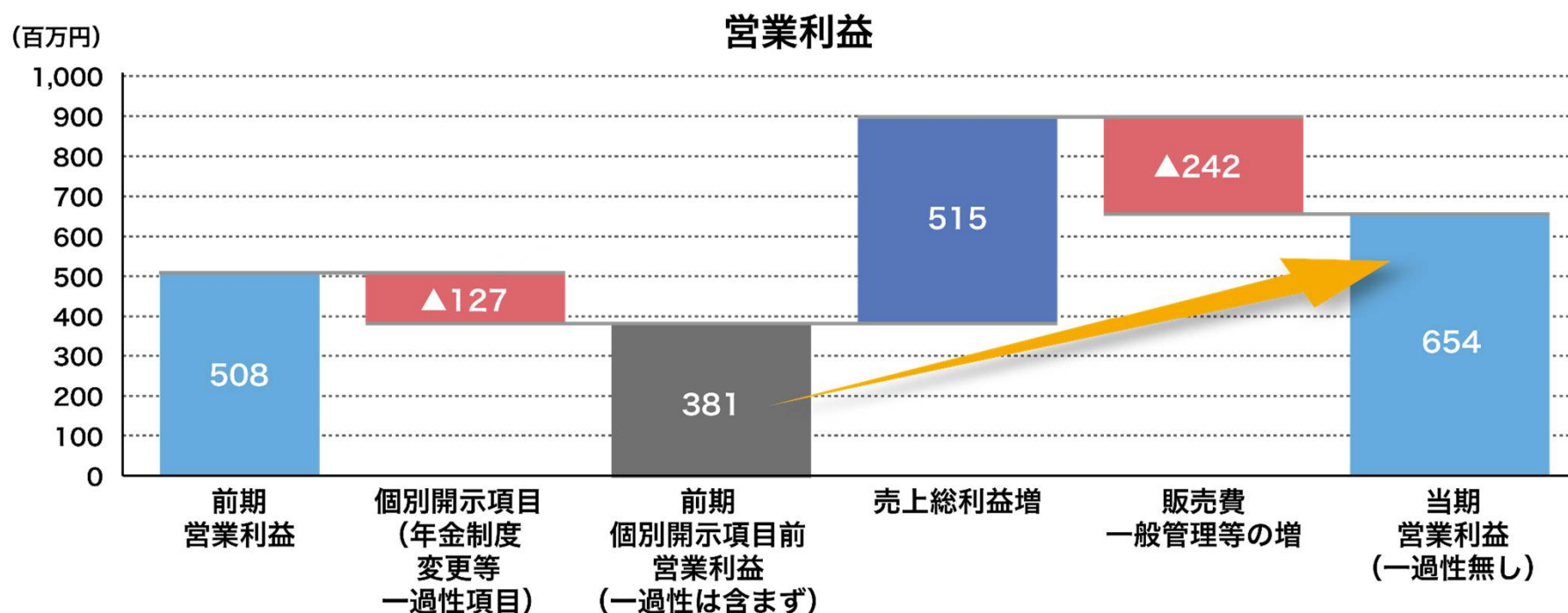
■ 資本合計（純資産）

- 親会社の所有者に帰属する当期利益の増益等に伴い、資本合計（純資産）は前期末の1,844百万円から2,468百万円へ+624百万円増加し、純資産比率も24.5%へ+5.4ポイント良化。

2021年5月14日発表の業績予想数値比較では、売上収益、営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益とも上回る結果となった。業績予想の修正参照。 https://www.teac.co.jp/downloads/corporate/2022/20220513_i2babjwy.pdf

営業利益

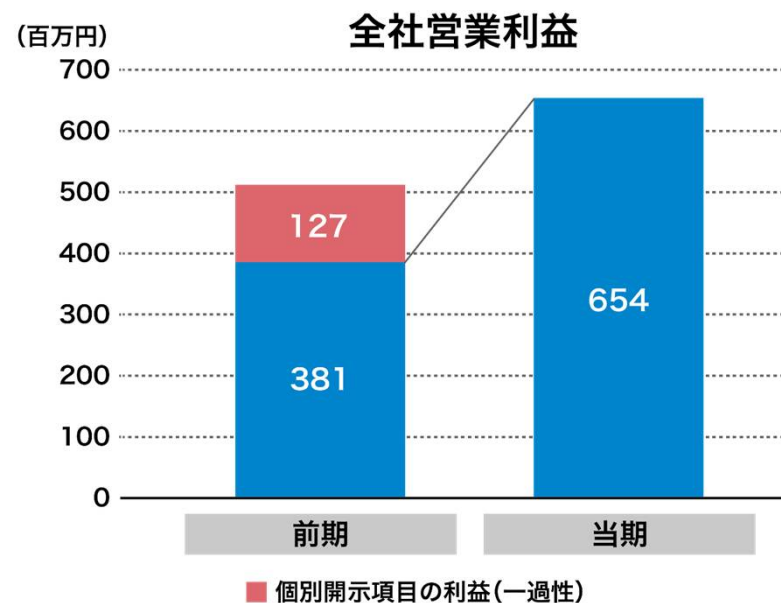
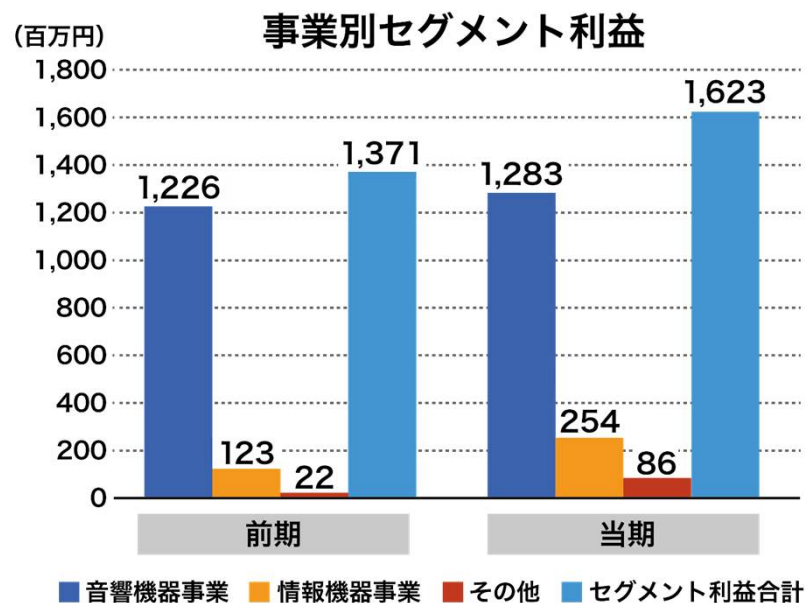
- 部品不足による販売機会損失、物流滞留、原材料価格や輸送費の高騰による原価増の影響が引き続き深刻化するなか、音響機器事業及び情報機器事業ともにセグメント利益が増益となり、営業利益も+146百万円の増益。
- 前期の営業利益は、127百万円の個別開示項目の一過性の利益（企業年金制度変更等）を含むことから、本業を表わす個別開示項目前営業利益は、381百万円から654百万円へ+273百万円の増益。



事業別セグメント営業利益・全社営業利益

- **音響機器事業**: ハイエンドオーディオ機器、プレミアムオーディオ機器、音楽制作・業務用オーディオ機器とも増収、セグメント利益も増益。特に欧州やアジアなど海外市場にて売上収益が伸長。
- **情報機器事業**: 医用画像記録再生機器及びデジタル指示計+センサーの増収と、売上総利益率の改善によりセグメント利益が増益。
- **全社営業利益**: セグメント利益の大幅増益により、一過性利益が発生した前期を上回る営業利益を計上。

※ 当期より、高級オーディオ機器、一般オーディオ機器は、それぞれハイエンドオーディオ機器、プレミアムオーディオ機器に呼称変更

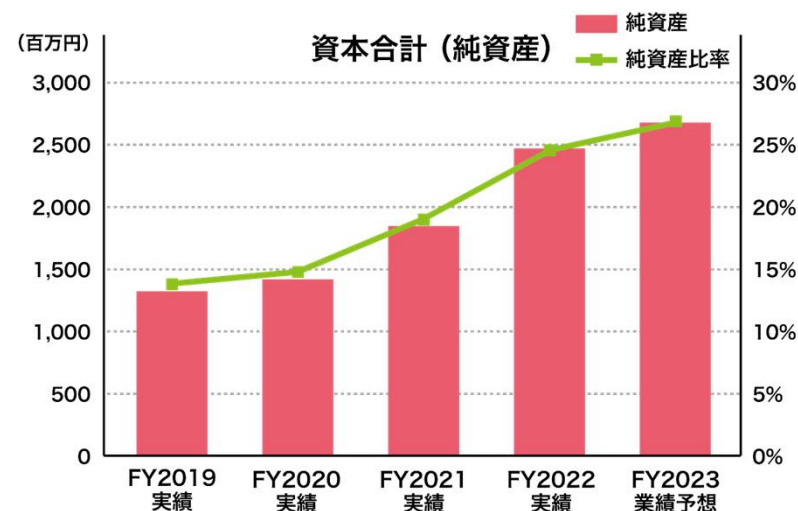
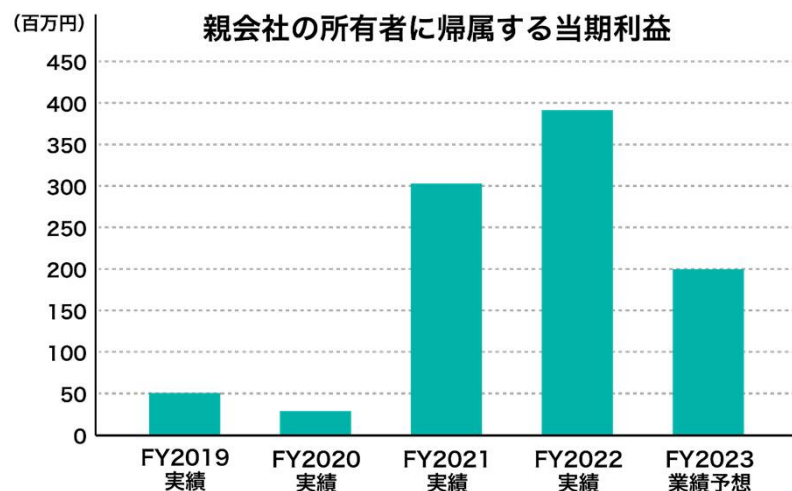
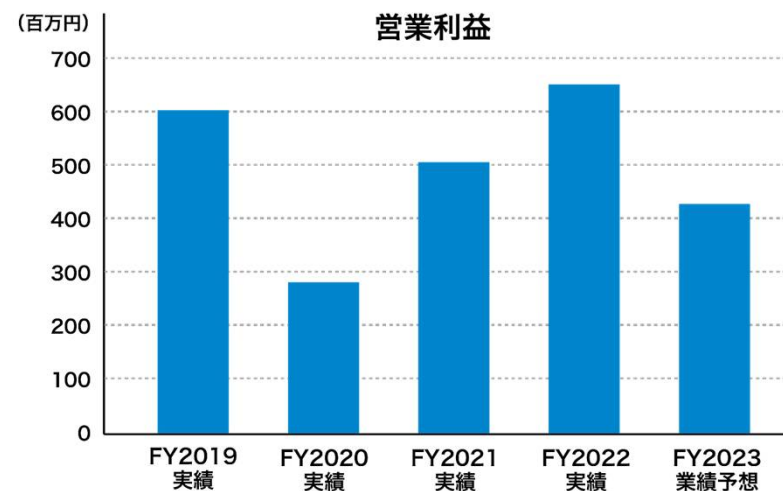
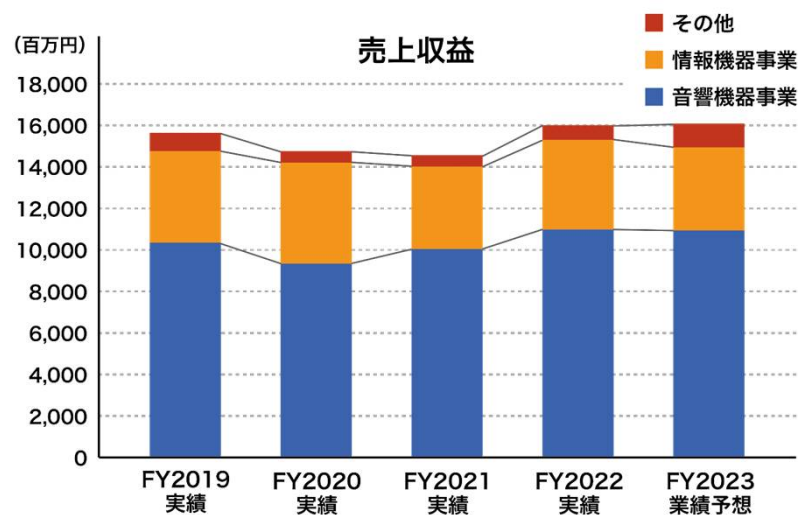


2023年3月期の見通し

単位：百万円	当期実績	次期見通し	増減
売上収益	16,004	16,100	+ 96
営業利益	654	430	▲ 224
税引前利益	481	300	▲ 181
親会社の所有者に帰属する当期利益	392	200	▲ 192

- 本日（2022年5月13日）公表の中期経営計画「B-7030計画」の初年度となる2023年3月期においても、電子部品調達難、また原材料価格や輸送コストの高止まりと更なる高騰リスクは、年度を通じて避けられないと想定。
- その想定下においても、当社が比較優位性を持つ製品を中心にグローバルに価格改定を実施することで、次期以降の業績の安定化と、2025年3月期の中期経営目標達成への戦略投資の原資確保ならびに実行を確実なものとする。

売上収益、営業利益、親会社の所有者に帰属する当期利益、資本合計推移



注: FY2022まで“情報機器事業”に含まれていた光ディスクドライブは、FY2023より“その他”に含めている。

これら推移は当社ホームページに「財務ハイライト」としてページを新設、常時閲覧可能となりました。
 詳細: トップ > 投資家向け情報 > 財務ハイライト: https://www.teac.co.jp/jp/contents/finance_highlight

音響機器事業の取り組み

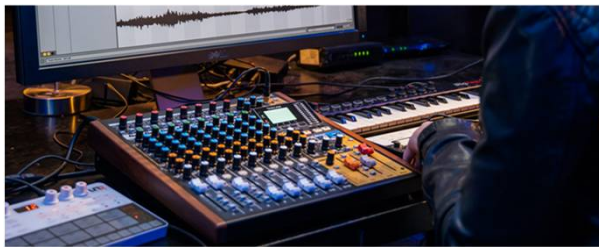
■ 音楽制作・業務用オーディオ機器 (TASCAMブランド)

• BtoB製品

欧米設備市場での持続的成長へ、商品ラインナップに音響機器のみならず映像関連製品を加えることで、システムインテグレータ並びにエンドユーザーにワンストップソリューションを提供できるブランドを目指す。



Model 16 16トラック ライブレコーディングミキサー



Model 12 12トラック ライブレコーディングミキサー



AE-4D 4 AES/EBU入出力Danteコンバーター

- 会議室（企業）
- 文教（視聴覚教室・講堂・体育館）
- アミューズメント施設・劇場
- ホテル・宴会場
- 店舗・商業施設
- 放送局・レコーディングスタジオ



VS-R264 / VS-R265 ビデオストリーミング
エンコーダー/デコーダー



BD-MP4K 4K対応ブルーレイ/マルチメディアプレイヤー

音響機器事業の取り組み

■ 音楽制作・業務用オーディオ機器 (TASCAMブランド)

• BtoC製品

創造・制作・配信までのワークフローをカバーする商品ラインナップにより、アマチュアからプロフェッショナルまでユーザーの実現したいことを高品質ながら簡単操作でアシストするブランドを目指す。

NEW



Mixcast 4
音声コンテンツ制作に最適な
ポッドキャストミキサー・レコーダー



TM-250U
オンライン会議、ライブ配信、
ゲーム実況に適したUSBマイクロホン



US-1X2HR, US-2X2HR, US-4X4HR
USB オーディオインターフェース

■ 音楽制作・業務用オーディオ機器（TASCAMブランド） - クリエーター市場開拓

Portacapture X8

タッチパネルによる直感的な操作と
32bit float録音対応
次世代の8トラックハンドヘルドレコーダーを新発売



多様化する音声収録市場において、目的の音を確実に高音質で収録したいというニーズに応えるべく開発された本製品は、当社が長年培った技術と経験により進化した高音質性能、使いやすさを追求したタッチパネルとアプリランチャーシステムによるユーザーインターフェースを搭載した、簡単操作で高音質収録を実現する次世代のハンドヘルドレコーダー。

CA-XLR2d

キヤノン、富士フイルム、ニコン、各社との協業による
ミラーレスカメラ対応XLRマイクアダプターを発売
プロ品質での動画音声収録を実現



高画質の動画撮影に使用されるミラーレスカメラにXLR入力を拡張し、高性能マイクプリアンプによるプロ品質の音声をダイレクト伝送。更に、データ通信に対応したアクセサリシュー搭載カメラとの組み合わせにより高性能ADコンバーターによるカメラへのデジタル音声伝送を実現。クリアで劣化のない音声収録が可能。

■ プレミアム オーディオ (TEACブランド)



AI-301DA-Z
USB DAC/ステレオプリメインアンプ



PD-301-X
ワイドFMチューナー搭載CDプレーヤー

人気のReference300シリーズのAI-301とPD-301を、新機能を追加し、『AI-301DA-Z』、『PD-301-X』としてリニューアル。

テレワークが普及し、自宅で過ごす時間が増えたなか、音楽を聴きながら仕事をしたり、息抜きに音楽を聴いたりすることも増えた昨今。そんな環境に適したReference300シリーズは、そのミニマルなサイズとデザイン、そしてTEACだからこそこだわり抜いた音質が好評。

■ ハイエンド オーディオ (ESOTERICブランド)



Grandioso M1X
モノブロック・パワーアンプ

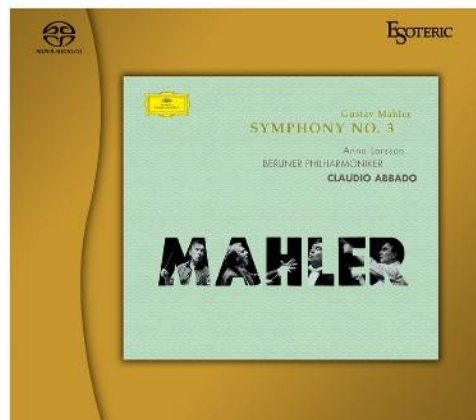
Grandiosoラインの新しいモノブロックパワーアンプGrandioso M1Xを2022年3月より販売開始。Grandioso M1Xはエソテリックのフラッグシップ Grandiosoシリーズの中でもXエディションの名を冠する製品にふさわしく、革新的な技術を惜しみなく投入したモノブロック・パワーアンプで、その革新性は総部品数1,554点のうち1,018点が新規採用、そして電気回路の90%が従来のオリジナルモデルGrandioso M1から完全に刷新、パワーアンプの新たなマイルストーンとなり得る製品。

■ ハイエンド オーディオ (ESOTERICブランド)



Esoteric Mastering

設立したばかりの「エソテリック・マスタリング・センター」にて最初に制作したスーパーオーディオCD、3作品を2022年3月12日より販売開始。



マーラー：交響曲第3番、第1番《巨人》



エルガー：チェロ協奏曲、《エニグマ》変奏曲、
行進曲《威風堂々》



ベートーヴェン：ピアノ協奏曲全集



「エソテリック・マスタリング・センター」について、プロデューサーでありESOTERICブランドの創業者である大間知基彰氏とマスタリングエンジニア東野真哉氏によるインタビュー動画もYouTubeにて公開 (<https://youtu.be/IFMrcf9AMt8>)。

■ 計測機器

・データレコーダー 信頼性が求められるワнтаймレコーディングに！

重工業、鉄道、航空関連の騒音・振動計測用データレコーダー。PCを必要とせず、製品単体で長時間計測が出来ることが大きな特長。



WX-7000 シリーズ
ワイドバンドデータレコーダー

次世代車載ネットワーク【CAN-FD】に対応したCANモジュールにより、EV化や自動運転の技術革新が進む自動車業界への拡販が進行中。



LX-1000 シリーズ
インテグレートドログガー

・デジタル指示計+センサー 半導体製造装置市場での販売が急成長！

- 高速AD変換技術を採用⇒20,000回/秒以上の高速サンプリングを実現。
- Ethernet/IP等のフィールドバスオプションを追加可能。
- シリコン製造装置、チップマウンター、ボンダー、プリンター、プローブシステムメーカー等での実績アップ。

NEW



TD-SC1
シグナルコンディショナー



TD-9000T
カラーグラフィックデジタル指示計



加速度トランスデューサー



TD-700T
デジタル指示計

■ 医用画像記録再生機器

・消化器内視鏡市場

消化器内視向けレコーダーは国内市場がメインの製品。内視鏡検査のワークフローに則したレコーダーとして高い採用実績を誇る。



MV-1
消化器内視鏡イメージレコーダー

・手術室市場：グローバル市場

手術室向けレコーダーは全世界での販売を展開。HD画像用のベンチマークモデルと、最新のビデオ技術を結集した4K・3D対応のフラッグシップモデルをラインアップ。日米欧の先進医療市場からアジア・中南米の医療新興国まで、全てのニーズに対応。



UR-4MD
HD用手術動画用レコーダー



UR-NEXT 4K
4K・3D対応 フラッグシップレコーダー

・手術画像管理ソリューション

手術画像管理ソフトウェア SurgeOne 院内での手術動画一元管理ソリューション。UR-NEXT4Kとの組合せで海外市場への展開も開始。



SurgeOne v2 手術映像記録システム



情報機器事業の取り組み

■ 機内エンターテインメント機器

個人のスマホなどで機内エンターテインメントが楽しめる新IFEシステム、PortaStreamをバージョンアップ！国内エアラインへ順次導入開始。

海外エアラインへは、新たなビジネスパートナーと戦略的協業を開始、アジアを中心に市場開拓。



PortaStream
PS-V50

